

最近の管内経済概況

(2025年4月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、横ばい傾向。
- 個人消費は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、持ち直しの兆しがみられる。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

2025年6月20日

照会先：経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L：011-709-2311 内線 2525

E-mail：bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2025年6月現在)

発表月	2025年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月との判断比較
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している (↗)	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
生産活動	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	横ばい傾向 (↔)	↘
個人消費	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している (↗)	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	→
観光	改善している	改善している	改善が続いている (↗)	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	→
公共工事	増加した (↗)	増加した	増加した	減少した (↘)	減少した	増加した (↗)	↗
住宅建設	持ち直しの兆しがみられる (↗)	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	→
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	減少している (↘)	↘
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	→
企業倒産	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	↘

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

↗ 上方修正 → 据え置き ↘ 下方修正

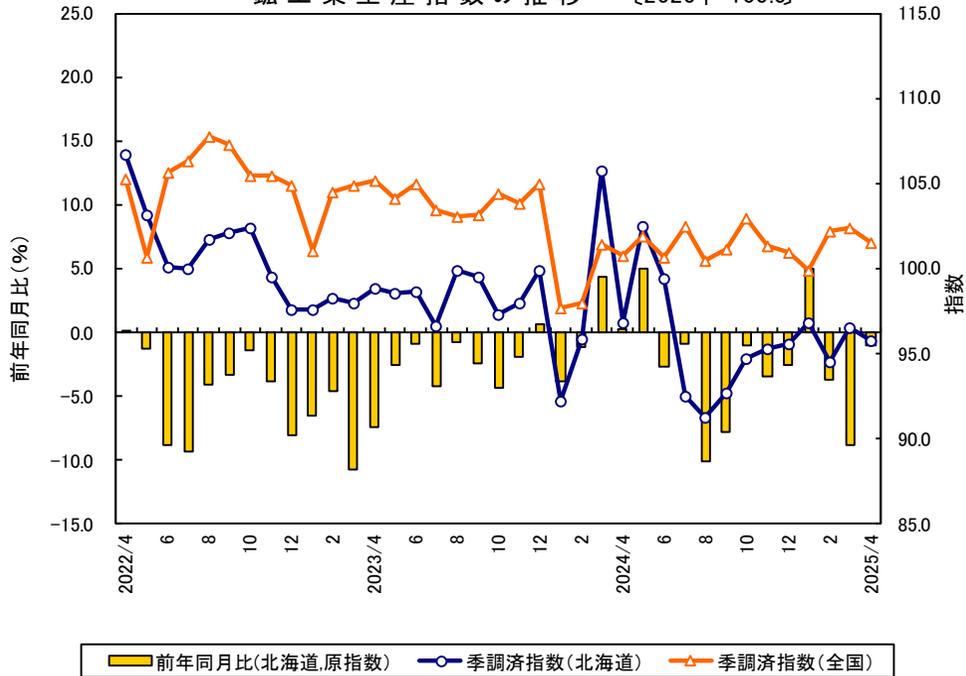
生産活動 ～ 横ばい傾向 ～

4月の鉱工業生産は、前月比▲0.7%と2か月ぶりに低下した。前年同月比は▲1.0%と3か月連続で低下した。低下業種は、輸送機械工業など6業種となった。上昇業種は、窯業・土石製品工業など6業種となった。

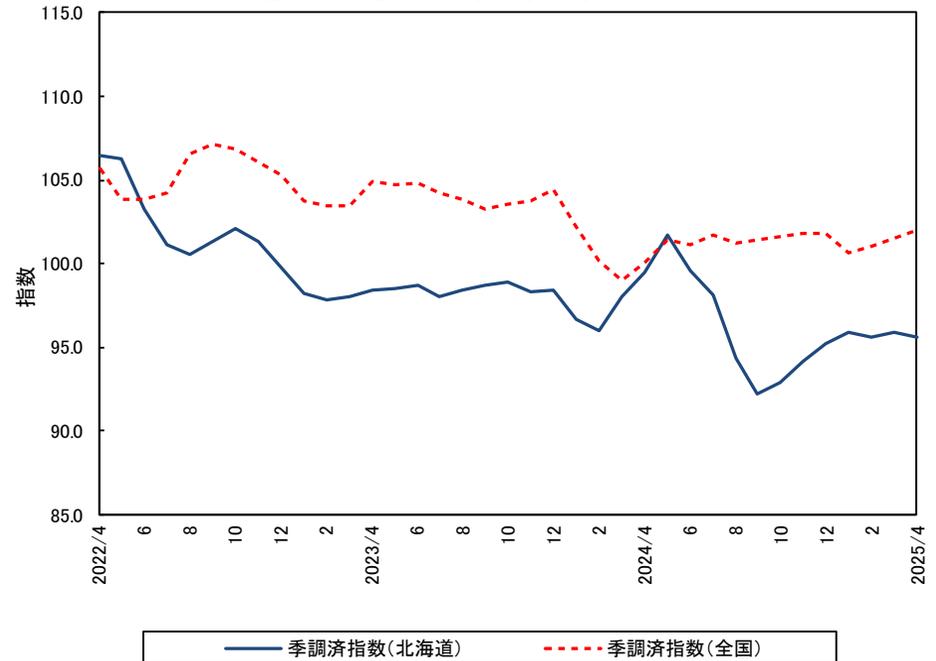
<4月>
 季節調整済指数
 北海道（速報） 95.8（前月比▲ 0.7%）
 全国（速報） 101.5（前月比▲ 0.9%）

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
低下 6業種	輸送機械工業	▲ 8.3	+ 10.1	自動車部品
	電気機械工業	▲ 7.9	▲ 5.1	配電盤
	化学・石油石炭製品工業	▲ 0.8	▲ 7.9	化学・石油石炭製品
上昇 6業種	窯業・土石製品工業	+ 22.9	▲ 1.0	セメント・同製品

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



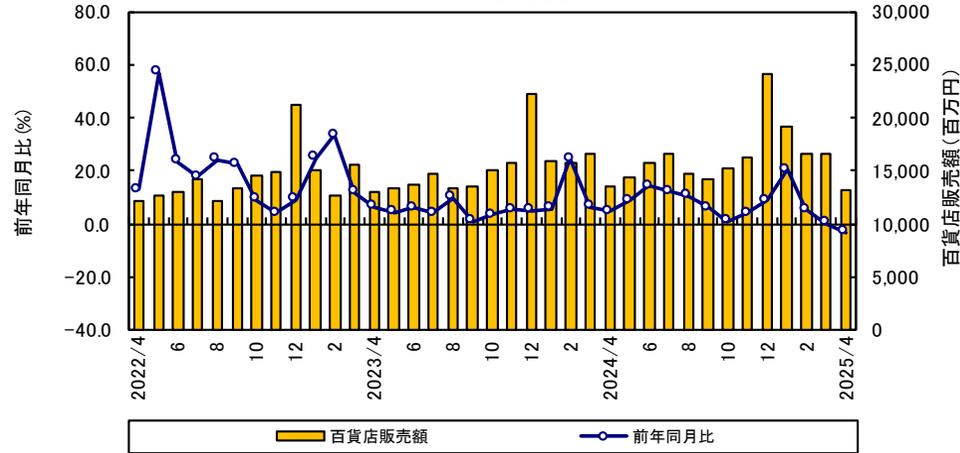
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している ～

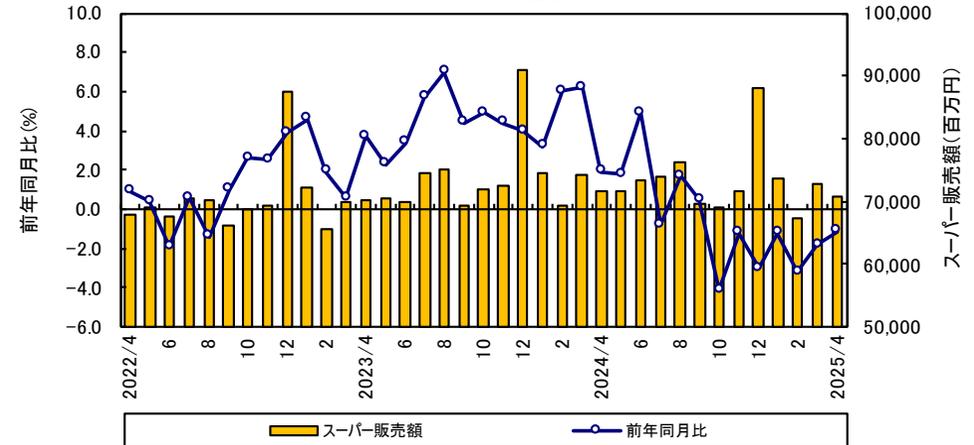
4月の個人消費は、コンビニエンスストア、ドラッグストア、新車販売が前年を上回り、他の4業態は前年を下回った。

- ・百貨店は、高級ブランドの商品の売上げが落ち込み、前年同月比▲3.2%と38か月ぶりに前年を下回った。
- ・スーパーは、買上点数の減少などから、同▲1.1%と7か月連続で前年を下回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+1.5%と7か月連続で前年を上回った。

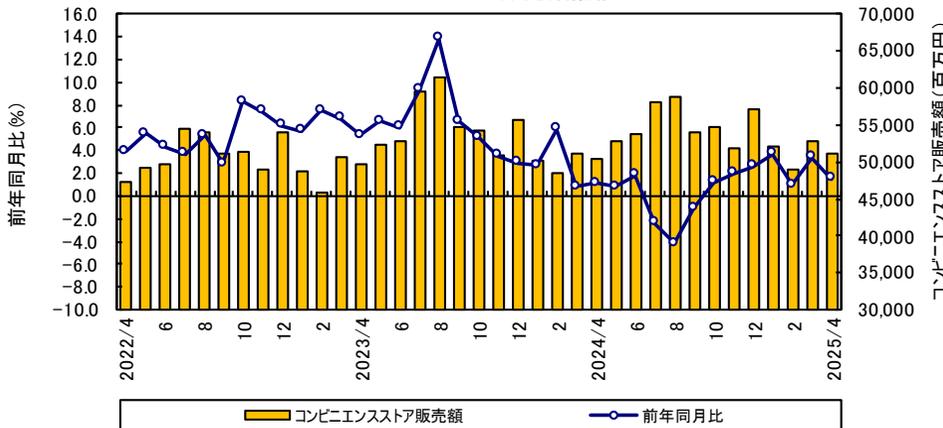
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

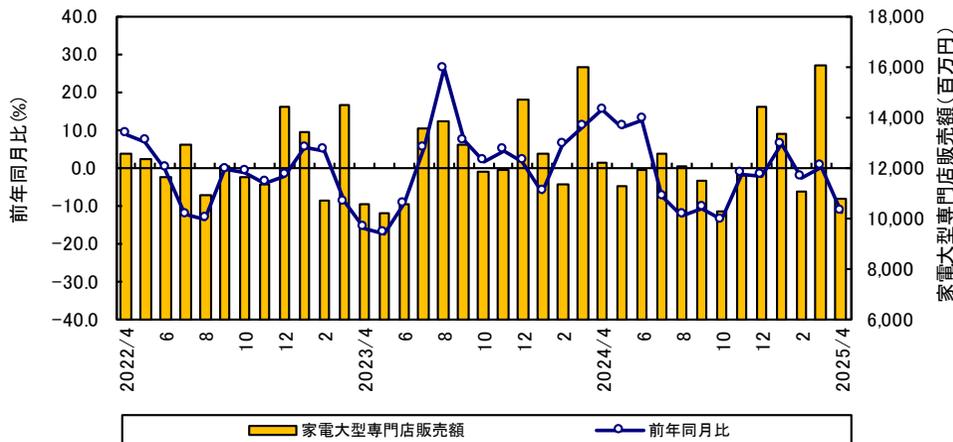


【ヒアリング内容】

- ・米国関税の先行き不透明感への不安や円高傾向の強まりによりインバウンド客を中心に高級ブランドの商品の売上げの落ち込みがみられた。また、天候要因により春物の売上げが伸びなかった。(百貨店)
- ・物価高による節約志向から、買上点数の減少がみられたほか、ディスカウントストアへの客の移行がみられた。(スーパー)
- ・外食の値段が上がり中食需要が高まっていることや、価格が高騰している米の代替品としての需要があり、弁当や麺類の売上げが伸長した。(コンビニエンスストア)

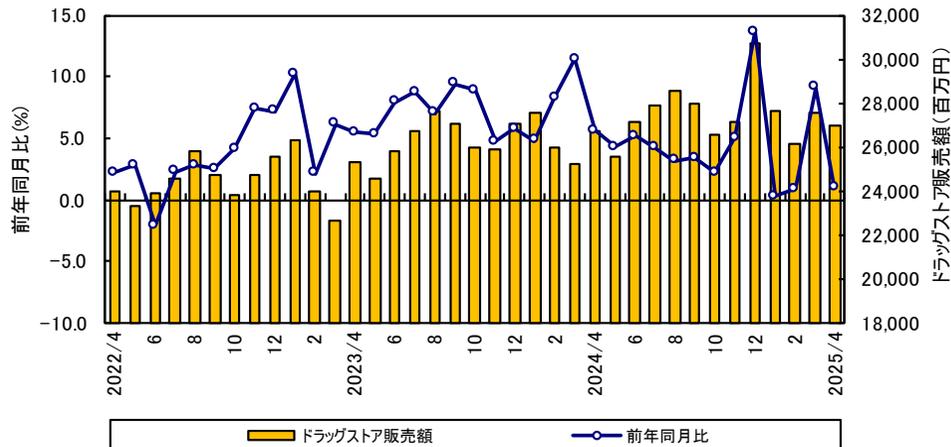
- ・家電大型専門店は、同▲11.6%と2か月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは、同+1.0%と34か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲8.0%と7か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同+5.5%と4か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



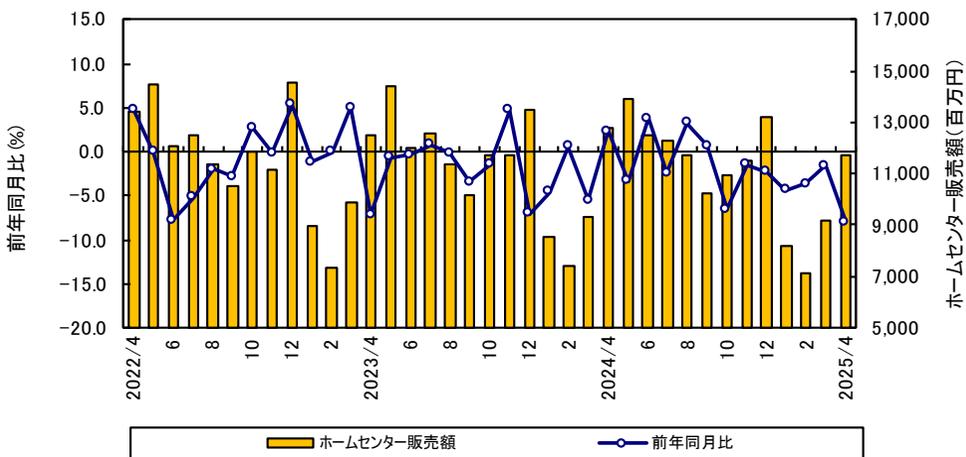
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

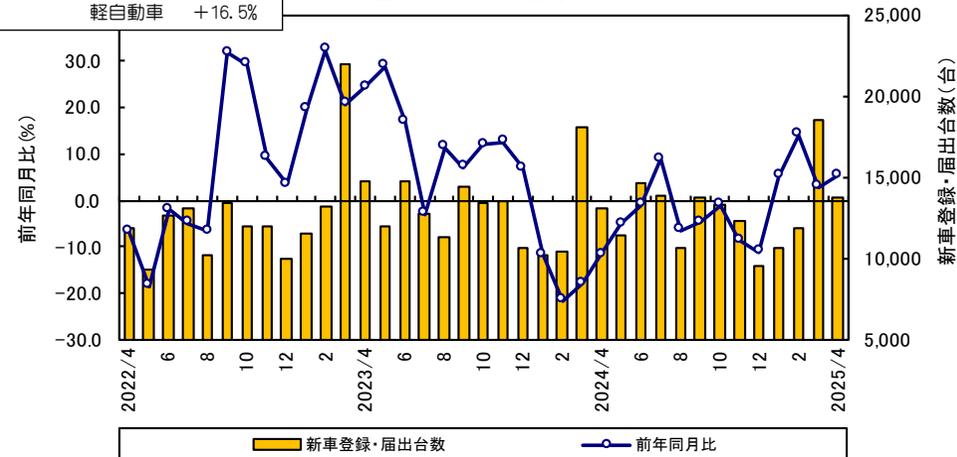
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<4月> 普通乗用車 + 3.2%
小型乗用車 ▲ 1.0%
軽自動車 + 16.5%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

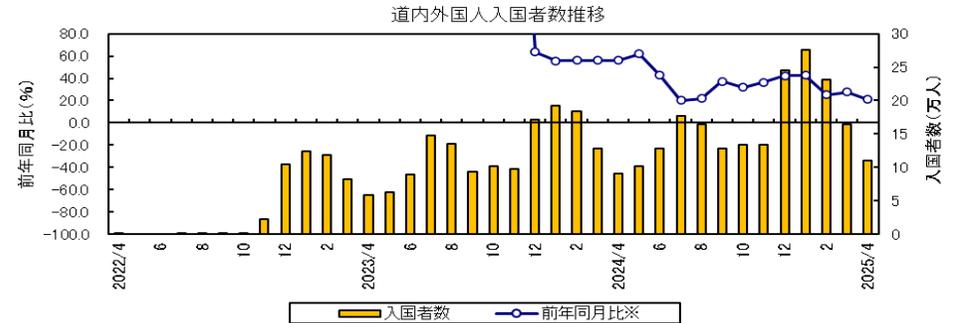
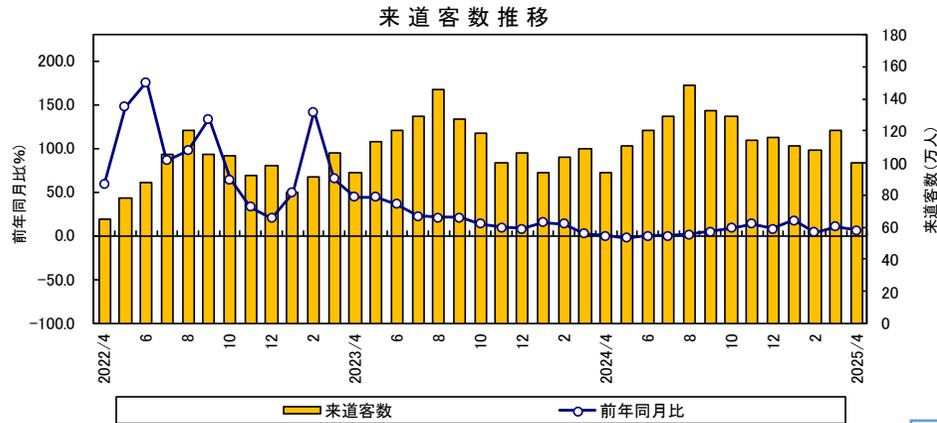
【ヒアリング内容】

- ・スマートフォンやパソコンは好調だったものの、前年売上げをけん引していたエアコンの反動減が引き続きみられ、売上げは下回った。(家電大型専門店)
- ・インバウンドの客数、売上げの伸び率は小さくなってきているものの前年を上回った。一方で、国内客においては低価格帯の商品への移行や買上点数の減少がみられた。(ドラッグストア)
- ・週末の天候不順により屋外の作業で使用する商品の動きが良くなかったことから、売上げ、客数が前年を下回った。また、節約志向による買上点数の減少がみられた。(ホームセンター)

観光 ～改善が続いている～

4月の来道客数は、前年同月比+6.9%と11か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+21.0%と34か月連続で前年を上回った。

<4月> 入国者数 110,240人(+21.0%)



(資料：法務省) ※2022/7及び9、2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していません。

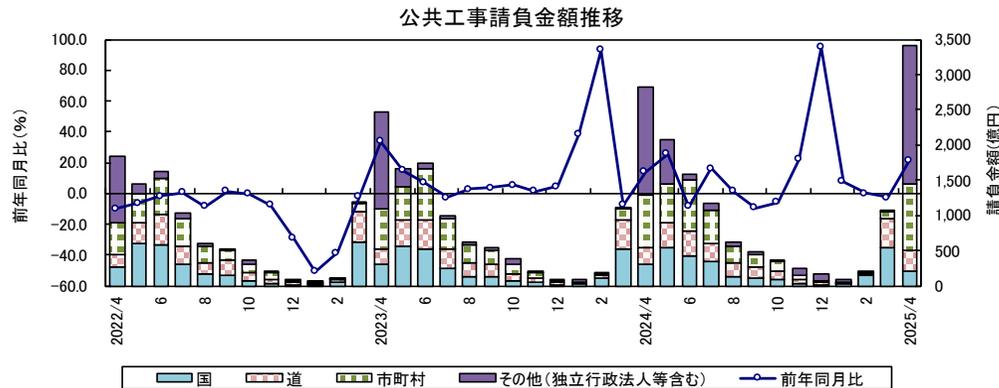
<4月> 来道客数 1,005,079人(+6.9%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

・4月の宿泊数は前年同月比101%だった。例年より桜の開花が早く4月下旬の動きは好調であった。(宿泊施設)

(資料：(公社)北海道観光機構)

公共工事 ～増加した～

4月の公共工事請負金額は、国は前年を下回ったが、道、市町村、その他は前年を上回り、前年同月比+21.2%と3か月ぶりに前年を上回った。



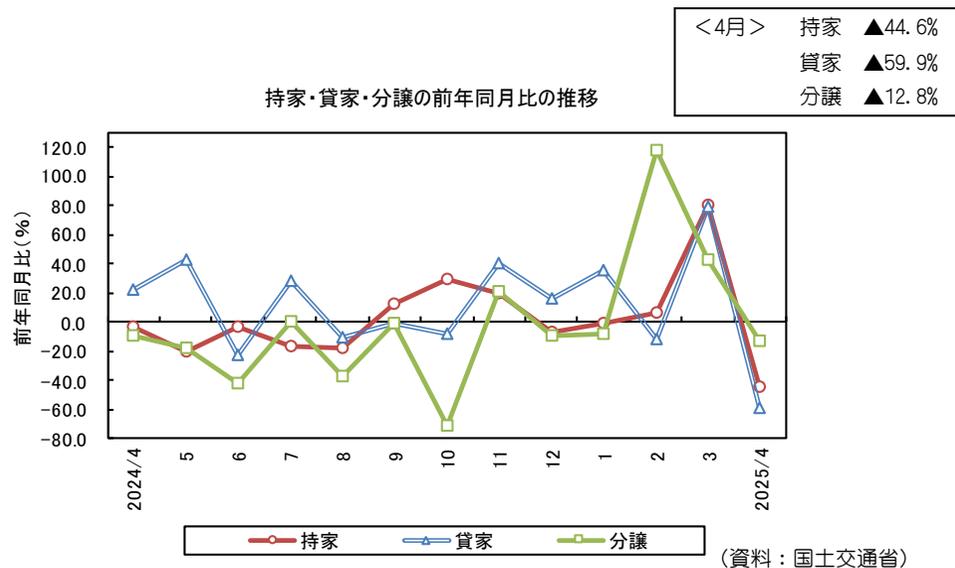
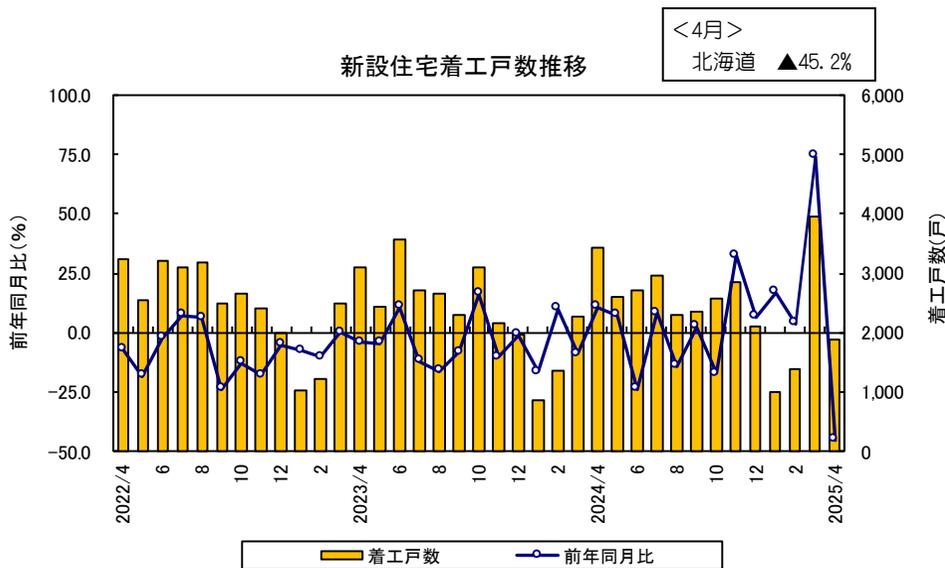
<4月>
 北海道 +21.2%
 (内訳)
 国 ▲34.4% 道 +25.6% 市町村 +27.5% その他 +28.7%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

4月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲全てで前年を下回り、前年同月比▲45.2%と6か月ぶりに前年を下回った。



民間設備投資 ～ 減少している ～

2025年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲7.8%と4年ぶりに前年度を下回った。

日銀短観の設備投資動向

2025年4月1日発表

	2024年度	2025年度
北海道	+ 24.7%	▲ 7.8%
製造業	+ 26.2%	▲ 6.2%
非製造業	+ 24.1%	▲ 8.6%
全国	+ 8.1%	+ 0.1%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

※北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2025年3月12日発表

	2024年度	2025年度
全産業	+ 16.5%	+ 5.0%
製造業	+ 19.6%	▲ 4.9%
非製造業	+ 15.2%	+ 13.0%

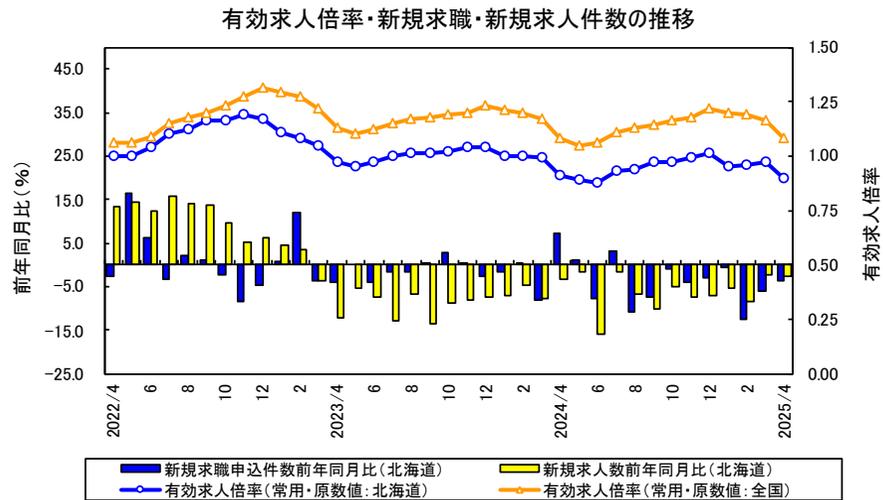
※数値は対前年比増減率。

※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

4月の有効求人倍率は、0.90倍と前年同月差0.01ポイント低下し、25か月連続で前年を下回った。

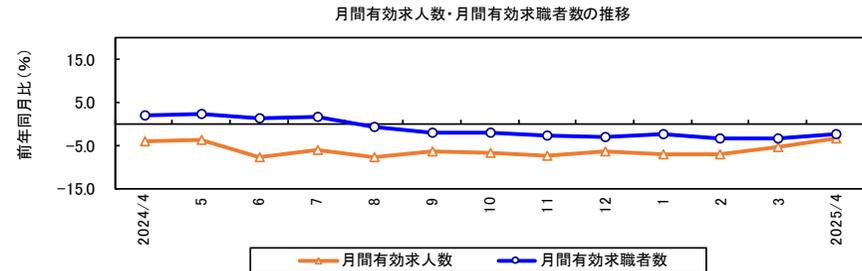


<4月>

北海道	有効求人倍率(常用・原数値)	0.90倍
	新規求人件数(前年同月比)	▲ 2.5%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 3.6%
全国	有効求人倍率(常用・原数値)	1.08倍

<4月>

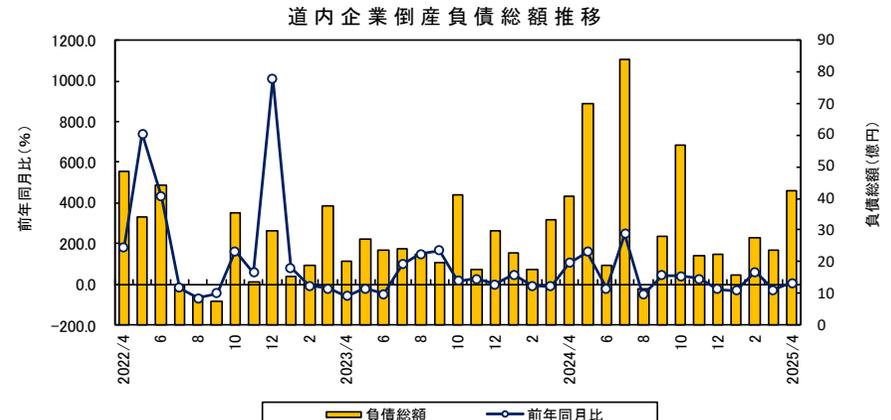
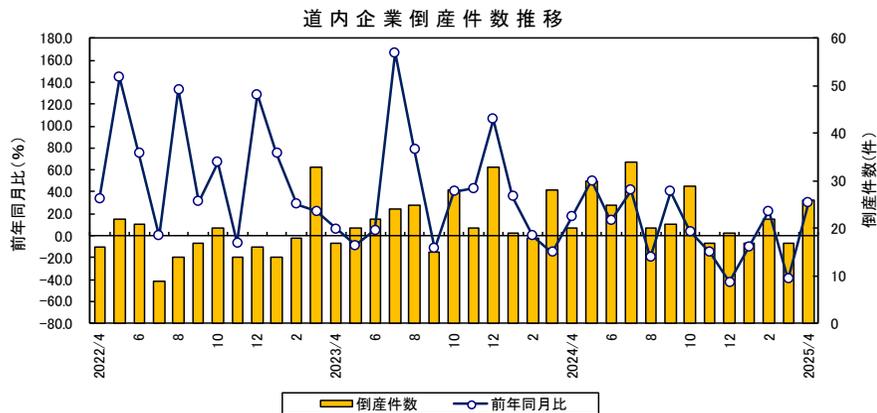
	月間有効求職人数(前年同月比)	▲ 3.3%
	月間有効求職者数(前年同月比)	▲ 2.4%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した ～

4月の倒産件数は26件で、前年同月比+30.0% (6件増) と2か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は42.6億円で、同+4.6%と2か月ぶりに前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)